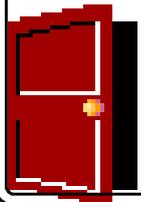


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年7月11日 文責 渡邊

7月7日(木)に、「ふうせんかづら」の皆さんが2年生児童に紙芝居を披露してくださいました。

「金太郎(きんたろう)」の話をご自分たちで紙芝居として創り上げたものをお話くださいました。紙芝居を創るにあたり、函南町の図書館に出向き、資料を参考に物語を作成していったということです。これまで多くの児童が「金太郎」というお話を絵本などを通して知っていることと思います。ストーリーを知っていると安心して聴くことができるよさがあります。今回の紙芝居ではそれが大きく発揮されたように思います。

「ふうせんかづら」の皆さんは、途中で童謡を交え、児童も一緒に歌を口ずさみながら楽しい時間を過ごしました。とても温かな雰囲気の中で、2年生児童は物語の世界に入っていく様子が伺えました。

紙芝居を終えて、「今日は、ありがとうございました。」とお礼の言葉を述べる児童の表情がとても微笑ましかったです。また、「ふうせんかづら」の皆さんも笑顔で返し、2年生の教室の温かさがとても嬉しくなりました。こうした場面に出会えたとき、とても幸せを感じます。

「ふうせんかづら」の皆さんは、児童に次のようなメッセージを贈ってくださいました。

「もうすぐ楽しい夏休みですね。夏休みにはたくさんの本を読んでくださいね。函南町にはすてきな図書館があります。そこには児童用の本がたくさんあります。そこで読書を楽しんで欲しいと思います。」

7月には、「ふうせんかづら」の皆さんの紙芝居、「マルベリー」の皆さんの読み聞かせ、保護者の皆さんの読み聞かせと多くの方々の協力による読書への働きかけが予定されています。本当にありがたく思います。夏休み前に、多くの児童が読書に興味をもち、夏休みに豊かな体験とともに読書を楽しんで欲しいと願います。

----- 切り取り線 -----



【紙芝居の様子①】



【紙芝居の様子②】



【紙芝居の様子③】

「読書活動の扉を開く」(7月11日号)を読んだ感想

()年()